

五城小だより



令和5年度
No.11 (9月)



学校教育目標「笑顔とありがとうのあふれる五城の子ども」

あつく燃える 五城の2学期

今年の夏休みもますます暑い日々でした。始業式で「楽しかった?」と尋ねると全員の手が挙がりました。山や海に、夏祭りや花火大会に、多くの子どもたちが夏休みに出かけた様子を報告してくれました。こんなに気持ちのいい2学期の始業式は何年振りでしょう。

2学期の五城小学校も、この元気な47人の子どもたちと暑さに負けない、熱いパワーでがんばります。引き続き、ご家族、地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いします。そして、ご意見・ご感想をお待ちしています。

心のバリアフリー

始業式では、^{あしはらみづう}葦原海さんのお話をしました。葦原さんは現在、25歳。モデルやSNSインフルエンサーとして活動しています。16歳の時の事故で両足を失い、車椅子利用者となりました。



始業式では、障害や車いすの生活のこともありますが、葦原さんの考え方やメッセージから、子どもたちに2学期のことを考えてもらいたいと思い、取り上げました。

16歳で両足を失った葦原さんは、当然できなくなったことがたくさんありました。でも、葦原さんは「一人でできないことは、誰かの助けがあれば解決できる」と語っています。そして、「知らないこと(障害によって何ができないのか、何ができるのか)が一番の壁だと思っている」、だから、「知るきっかけが一番大事」だと続けています。このことをこの番組は「心のバリアフリー」といっていました。

子どもたちには、がんばれるところは一人でがんばって欲しいのはもちろんですが、助けてもらえば、もっと楽に、もっと素晴らしくできることもあります。そして、助けて欲しいと思っている人に気づけるようになって欲しいと思っています。

大きな全校行事の多い2学期。「手伝ってくれない。」-「うん、いいよ。」 「何かできることない?」-「ありがとう。助かった。」 そんな「心のバリアフリー」があふれる2学期にしていきます。



取り上げた番組のYouTube配信です。番組主旨とは異なる部分があります。ご了承ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=rQRvcwy3Q1I&t=304s>



8月29日、たくさんの荷物を両手に持って、子どもたちが登校してきました。

石井駐在さんやシルバーPTAの方々も見守りをしていただき、ありがとうございます。

各教室の黒板には、担任からの出迎えメッセージがありました。

多くの人に見守られている五城っ子たちは初日からシャキッとしていました。



夏休みあれこれ



【7月20日】学校保健委員会
学校の取組や学校医の先生からのお話に加えて、今回は「バランスボールを使った体操」を参加者全員で行いました。弾力と不安定さを利用することで体幹の筋力やバランス力を鍛えるバランスボールはテレビを見ながら弾んでいるだけで、相当な運動量になるそうです。



【7月20・21日】水泳教室
2日だけの夏休みプールでしたが、これも4年ぶりに開くことができました。
今年も授業回数は予定通りだったので、ずいぶん泳げるようになっていました。そしてこの2日間で、さらにレベルアップした五城っ子たちです。



【7月26日】職員研修
2学期に行う「不審者対応の避難訓練」の事前研修です。子どもたちの安全を守るため、炎天下でも北署の方々は本気で訓練場面を再現しながらご指導くださいました。



【8月3・8日】夏休み工作会

『ダンボールクジラ』（ダンボール工作）と『オリジナルしおり・下敷き作り』をしました。同じ材料で同じように作っているのですが、出来上がるとどれも個性的な作品になっていました。個性あふれる五城っ子たちの本領発揮です。



またまた発見!のIコマ

この写真がほぼ実寸大。中庭で見た瞬間は、ドキッと
する色と形と光り具合の虫でした。でも、丸っこくて足の
形状や触角がゲンゴロウのようにも見えます。

調べてみると「ガムシ」というゲンゴロウの仲間になる水生昆虫ですが泳ぎはゲンゴロウほど得意ではないようです。岡山県では準絶滅危惧種になっています。

五城の豊かな自然をしっかりと守っていきたいものです。

